

10. 関係機関相互の連携による防災訓練の実施

(幹事機関: 中部管区警察局)

優先的に取り組む連携課題（10 課題）の中間レビューヒアリング結果とりまとめ（H28.3.31 時点。予定含む。）（10/10）

優先的に取り組む 連携課題（幹事機関）	10. 関係機関相互の連携による防災訓練の実施（中部管区警察局）
項目	総合的な防災訓練を実施することにより、迅速かつ的確な応急活動のための連携体制の確立、防災力の向上を図る。
達成状況	<p>①中部圏地震防災基本戦略「地震・津波防災訓練の毎年実施」に基づき、構成機関の連携による広域的な防災訓練を毎年実施した結果、関係機関相互の連携は強化された。</p> <p>②防災訓練への一般市民の参加により、防災意識の高揚も図られつつある。</p>
他の連携機関に対する 連携にあたっての 要望事項	<p>① 関係機関間で連携した防災訓練については、その狙い及び教訓事項等を含め事務局及び幹事機関への情報提供（共有）をお願いしたい。</p> <p>②各機関の対策本部・現地指揮所内等における関係機関間の連携上の問題点について情報共有するとともに、解消のため協力願いたい。</p>
課題・懸案事項等	<p>①各関係機関が、発災時の具体的任務及び関係機関間の情報共有、連携方法等について、更なる検討を加えるとともに、訓練においてその検証を行い、対処能力の向上を図る必要がある。</p> <p>②現在、ワーキンググループ（大規模地震発生時の初動ヘリ等による情報収集・情報共有体制の構築 WG）を立ち上げ検討中の課題について、検討を進める必要がある。</p> <p>③一般市民の訓練参加を継続して働き掛け、日頃からの備えと的確な初期行動をとられるよう防災意識の一層の向上を図る必要がある。</p> <p>・実効性の高い防災訓練を継続して推進するためにも、より実践に即した「ブラインド型訓練」へのシフトが今後重要であると考え。過去に発生した災害への対応などを検証し、実際の活動状況を訓練に活かせるようなしくみが必要である。</p>
達成状況の評価	△

目的の達成状況についての凡例：【○：おおむね達成】【△：継続して実施が必要（目的達成に向けてPDCAや関係機関への展開が引き続き必要なもの）】
【▲：継続して実施が必要（未着手の課題や新たに生じた課題についての検討が必要なもの）】

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練※ (各縣市、防災関係機関等における広域連携実動訓練)

荒天のため中止

日 時：平成27年8月30日（日）
 想定地震：南海トラフ巨大地震
 震度分布：地震：マグニチュード9.0
 津波：マグニチュード9.1

南海トラフ地震の想定は、平成24年8月29日内閣府公表資料に基づく

中部地方整備局 災害対策本部

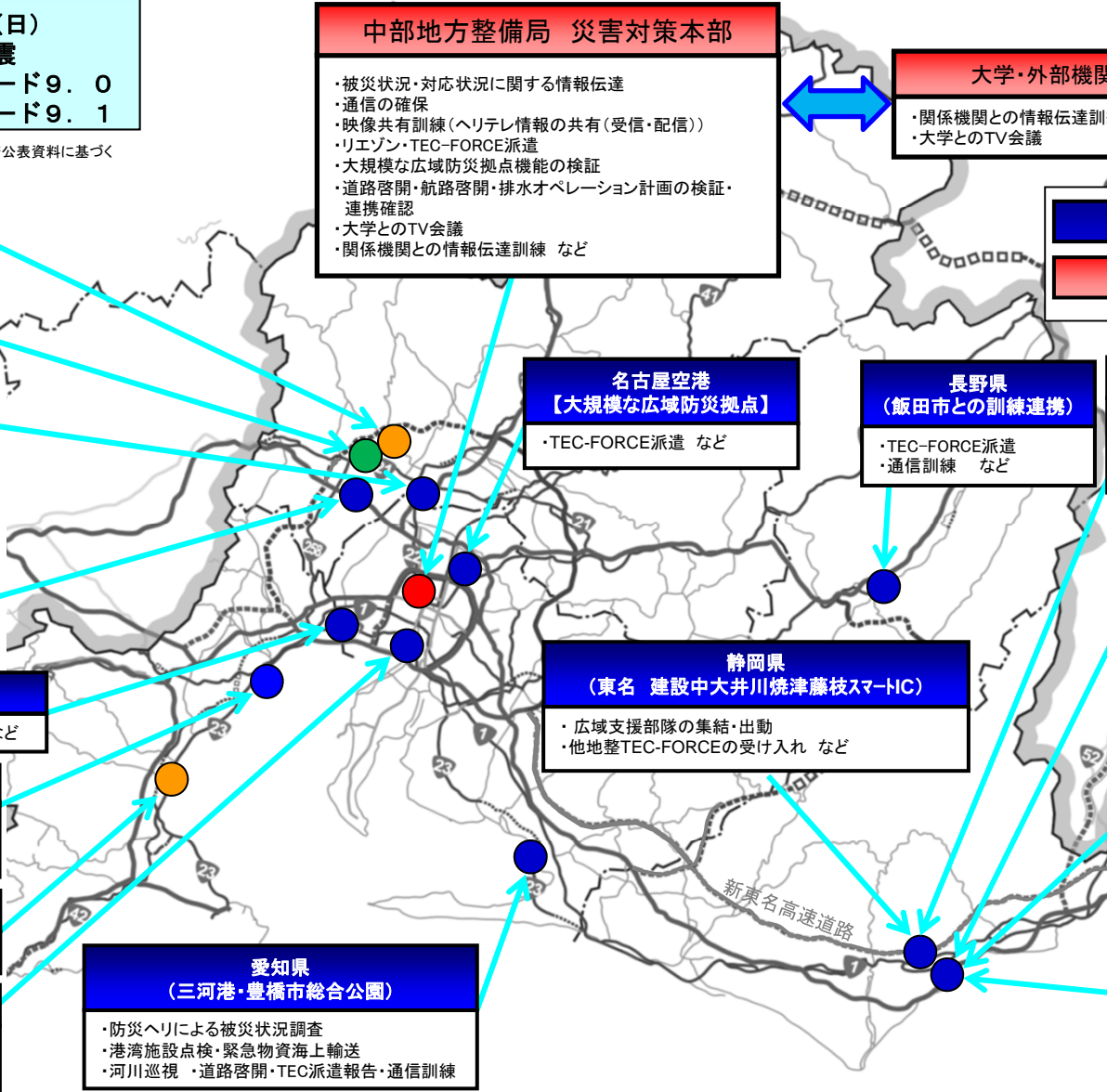
- 被災状況・対応状況に関する情報伝達
- 通信の確保
- 映像共有訓練（ヘリテレ情報の共有（受信・配信））
- リエゾン・TEC-FORCE派遣
- 大規模な広域防災拠点機能の検証
- 道路啓開・航路啓開・排水オペレーション計画の検証・連携確認
- 大学とのTV会議
- 関係機関との情報伝達訓練 など

大学・外部機関

- 関係機関との情報伝達訓練
- 大学とのTV会議

■ 実動訓練箇所
 ■ 対策本部等

- 岐阜大学**
・本部とのTV会議
- 岐阜県**
・リエゾン派遣
- 河川環境楽園【広域防災拠点】**
・広域支援本部の設置
・広域支援部隊の集結・出動
・他地整TEC-FORCEの受け入れ
・通信訓練（TV会議報告） など
- 大垣防災ステーション**
・災害対策車両の出動
・通信訓練 など
- 三重県（松隆東排水機場）**
・濃尾平野の道路啓開・排水オペレーションなど
- 三重県（四日市港）**
・道路啓開との連携
・港湾施設点検・航路啓開・臨港道路啓開
・通信訓練・TEC-FORCE派遣報告 など
- 三重大学**
・本部とのTV会議
- 名古屋港【大規模な広域防災拠点】**
・DMATの受け入れ
・海上での漂流者捜索・救助
・要救助者の搬送（ヘリ・船舶）
・港湾施設点検・航路啓開
・流出油防除・通信訓練 など



名古屋空港【大規模な広域防災拠点】

- TEC-FORCE派遣 など

長野県（飯田市との訓練連携）

- TEC-FORCE派遣
- 通信訓練 など

静岡県（藤枝市）

- 道路啓開
- リエゾン派遣
- 指揮所リエゾンからのTV会議
- 通信訓練 など

静岡県（焼津市（大井川防災広場））

- 道路啓開・排水オペレーション
- 通信訓練
- リエゾン派遣
- 交通対策訓練 など

静岡県（東名 建設中大井川焼津藤枝スマートIC）

- 広域支援部隊の集結・出動
- 他地整TEC-FORCEの受け入れ など

静岡県（焼津市（大井川港））

- 航路啓開の支援
- 救出救助訓練・消火訓練
- TEC-FORCE派遣
- 防災ヘリによる被災状況調査 など

愛知県（三河港・豊橋市総合公園）

- 防災ヘリによる被災状況調査
- 港湾施設点検・緊急物資海上輸送
- 河川巡視・道路啓開・TEC派遣報告・通信訓練

静岡県（焼津市（静浜基地））

- 防災ヘリによる給油訓練及び、緊急離発着訓練 など

※ 南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練とは、平成27年度総合防災訓練大綱における「地域ブロック広域訓練」と「静岡県総合防災訓練」、「東海地域広域連携防災訓練」を同時に実施するものです。

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練 (緊急災害現地対策本部運営訓練)

『緊急災害現地対策本部運営訓練・撤収訓練』

- 月日：平成27年11月4日（水）
- 場所：愛知県自治センター（12階E会議室）
- 目的：
南海トラフ地震発生時、現地対策本部が実施する災害応急対策活動等の「具体計画」の実効性を高めるため、特に発災24時間後の災害対応について訓練を実施。
- 参加機関：
内閣官房、内閣府、国土交通省、警察庁、総務省、消防庁、財務省、厚生労働省、農林水産省、気象庁、国土地理院、経済産業省、海上保安庁、環境省、防衛省、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県など21機関70名が参加

訓練想定 南海トラフ地震

- 発生日時：平成27年11月3日（火）9時00分
- 震源地：和歌山県南方沖
- 地震規模：マグニチュード9.1
- 最大震度：震度7



現地対策本部運営訓練 状況

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練 (緊急災害現地対策本部運営訓練)

訓練内容 (図上訓練)

○緊急災害現地対策本部運営訓練

- ・ 広域応援部隊の進出状況
- ・ 広域医療搬送体制
- ・ 物資の調達や燃料の確保、その輸送活動体制
- ・ 通行可能な緊急輸送ルート of 路線及び区間設定

○現地対策本部と被災各県災害対策本部との連絡調整

- ・ 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県各県から被害状況の報告及び政府への支援要請のとりまとめ



内閣府 酒井政務官
の講評



各機関からの
報告



現地対策本部運営訓練 状況

中部管区広域緊急援助隊合同訓練 (県、市、防災関係機関等の参加による広域連携実動訓練)

『平成27年度中部管区広域緊急援助隊合同訓練』

○月日：平成27年11月24日(火)、25日(水)

○場所：三重県四日市市内

○目的：

南海トラフ地震発生時における、管区広域緊急援助隊各部隊の災害対処能力向上及び関係機関・団体間の連携強化

○参加機関：

中部管区広域緊急援助隊、関係機関（陸上自衛隊、消防、DMAT、警備業協会、医師会等）



事故現場での救助訓練(消防・DMAT・警察)



土砂現場での救助訓練(自衛隊・警察)



緊急交通路確保訓練
(警備業協会・警察)



検視・検案・身元確認訓練
(医師会・歯科医師会・警察)



救護所等運営訓練
(DMAT・消防・警察)



夜間での救助訓練
(警察)

平成28年度の予定

■平成28年9月1日「防災の日」の前後：
各県市、防災関係機関等との広域連携実動訓練

■平成28年度中：
各県市、防災関係機関等との広域連携図上訓練

■平成28年度中：
中部管区広域緊急援助隊合同訓練

■平成28年8月6日：
大規模地震時医療活動訓練